

2025年12月期 決算説明資料

RESONAC

株式会社レゾナック・ホールディングス

取締役 常務執行役員 CFO

染宮 秀樹

2026年2月13日

01

半導体・電子材料セグメントのコア営業利益は、過去最高

2四半期連続で過去最高益を更新

02

コア営業利益は前期比増益

半導体・電子材料セグメント好調、ケミカルセグメント不振を打ち返す

03

2026年はコア営業利益1,400億円を見込む

半導体・電子材料セグメント好調継続、ケミカルセグメント黒字化を見込む

目次

1. 2025年12月期 決算
2. 2026年12月期 業績予想
3. これまでの振り返りと、さらなる成長に向けて

連結業績の概要 (前期比)

IFRS (億円)

項目	2024年※1	2025年	増減
売上収益	13,915	13,471	△ 444
コア営業利益	921	1,091	170
非経常項目	△ 31	△ 625	△ 594
IFRS営業利益	890	467	△ 424
金融収益・費用、持分法投資損益	△ 44	△ 16	28
税引前当期利益	846	450	△ 396
当期利益	748	310	△ 437
親会社の所有者に帰属する当期利益	735	290	△ 445

EBITDA (コア営業利益+減価償却費及び償却費)	1,902	2,034	132
EBITDAマージン	13.7%	15.1%	1.4p
ROIC※2	5.2%	6.2%	1.0p
ネットD/Eレシオ※3 (倍)	0.74	0.83	0.09
ネットDebt/EBITDA (倍)	3.8	3.5	△ 0.4
EPS (基本的1株あたり当期利益)	406円61銭	160円49銭	△246円12銭
1株当たり配当金	65円	65円(予定)	-

クラサスケミカル(石油化学事業)除くベース (億円)

	2024年※1	2025年	増減
売上収益	10,618	10,468	△ 150
コア営業利益	835	1,044	209
EBITDA	1,759	1,929	169
EBITDAマージン	16.6%	18.4%	1.9p

コア営業利益: IFRS営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出。非経常項目は、その他の収益、その他の費用および減損損失 (売上原価・販売費及び一般管理費に含まれる)

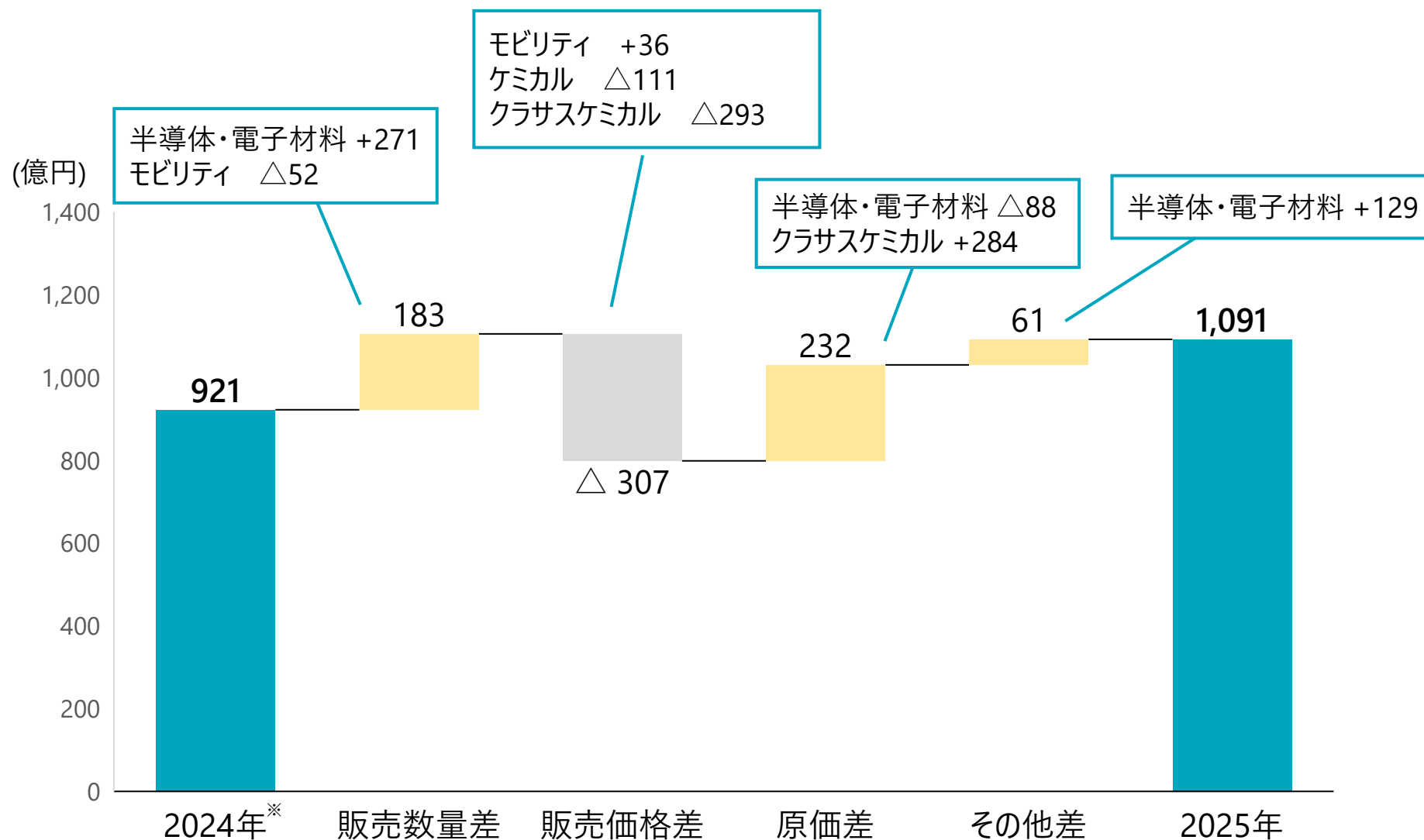
税引前当期利益: IFRS営業利益 ± 金融収益・費用 + 持分法投資損益

※1 IFRSならびにp.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

※2 (コア営業利益±持分法投資損益-法人所得税費用)÷(有利子負債+資本合計)

※3 {(借入金+コマーシャル・ペーパー+社債+リース負債)-現金及び現金同等物-劣後ローン×50%}÷(親会社の所有者に帰属する持分+劣後ローン×50%)。
劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2024年7月29日付の
(株)日本格付研究所の格付に基づく

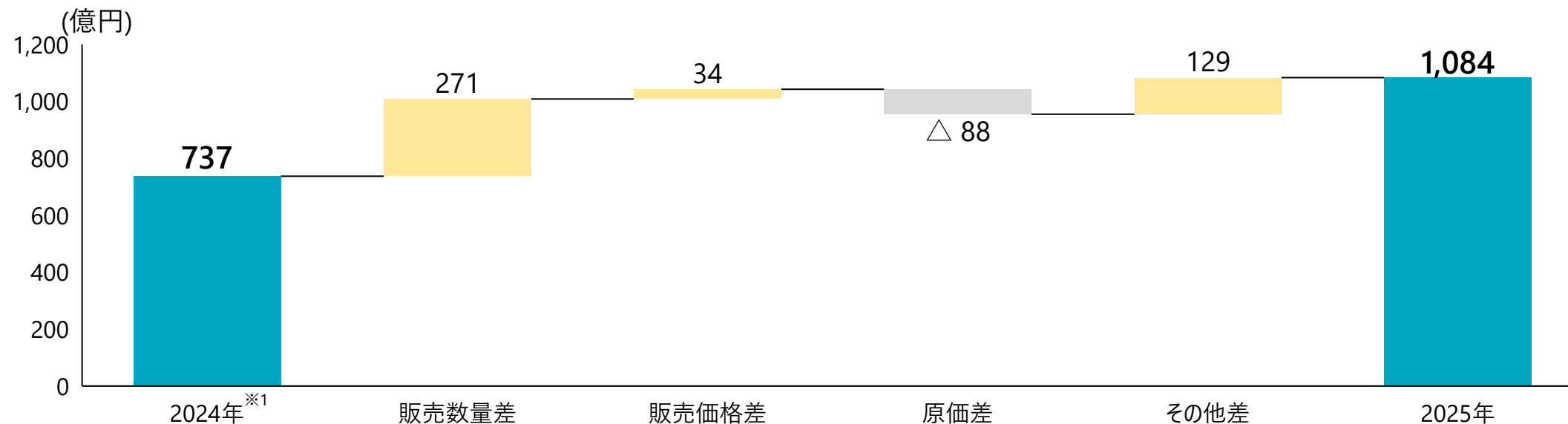
連結コア営業利益差異内訳 (前期比)



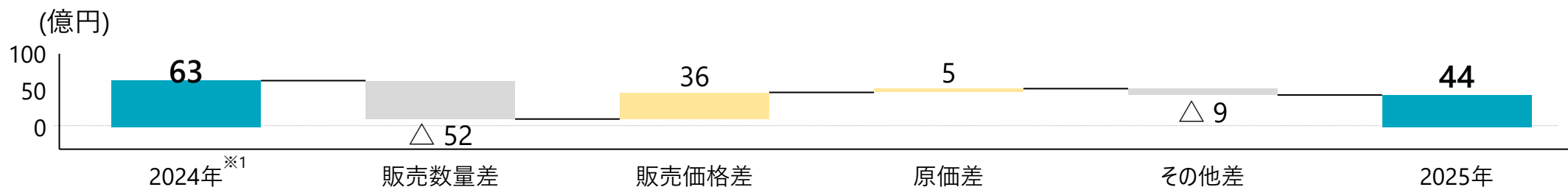
※ IFRSならびにp.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

セグメント別連結コア営業利益差異内訳 (前期比)

半導体・電子材料



モビリティ^{※2}

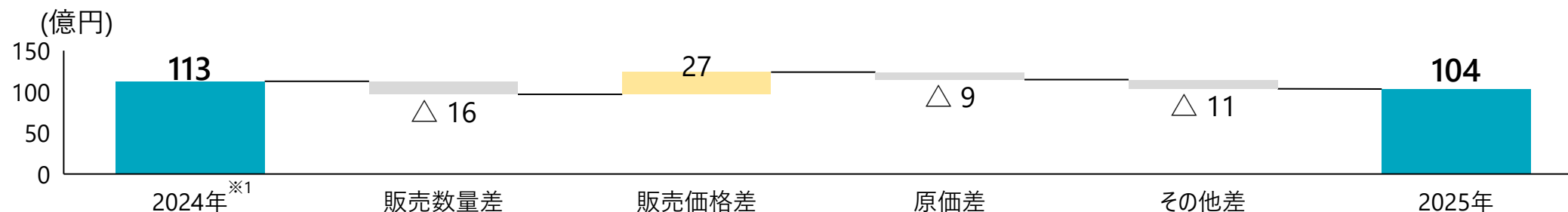


※1 IFRS遡及適用した値

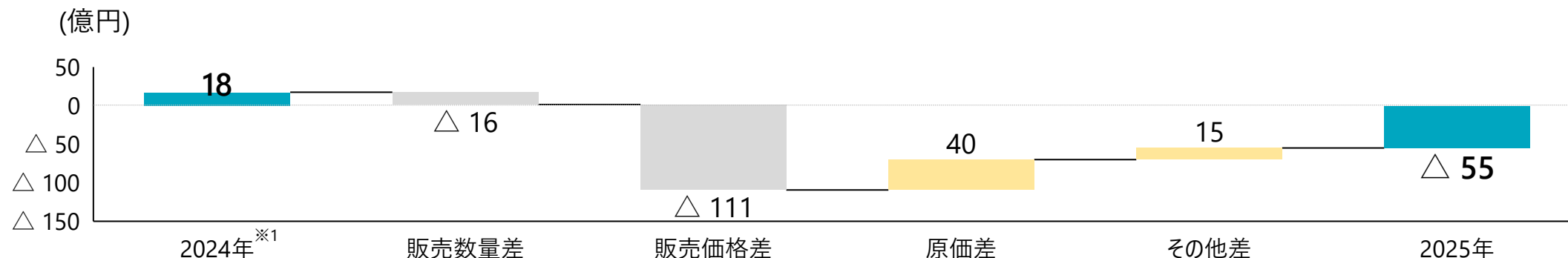
※2 p.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

セグメント別連結コア営業利益差異内訳 (前期比)

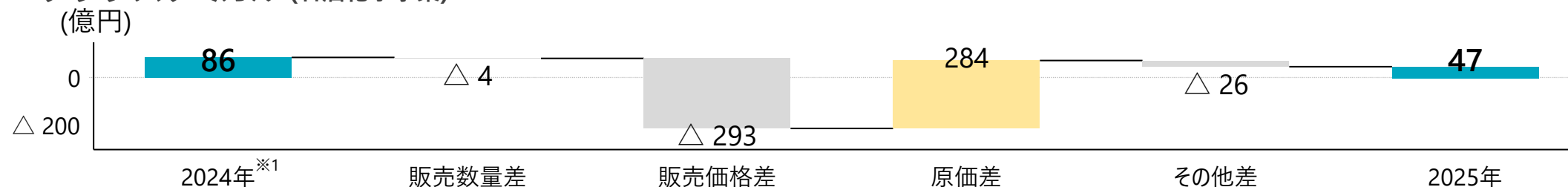
イノベーション材料



ケミカル^{※2}



クラサスケミカル (石油化学事業)^{※2}



※1 IFRS遡及適用した値

※2 p.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

セグメント別売上収益・コア営業利益・EBITDAマージン (前期比)

セグメント		2024年※	2025年	増減	増減率	(億円)
半導体・電子材料	売上収益	4,451	5,063	612	14%	
	コア営業利益	737	1,084	346	47%	
	EBITDAマージン	25.9%	30.2%	4.3p	-	
モビリティ	売上収益	2,003	1,784	△ 219	△ 11%	
	コア営業利益	63	44	△ 19	△ 31%	
	EBITDAマージン	11.8%	9.8%	△ 2.0p	-	
イノベーション材料	売上収益	970	922	△ 48	△ 5%	
	コア営業利益	113	104	△ 9	△ 8%	
	EBITDAマージン	17.7%	17.6%	△ 0.2p	-	
ケミカル	売上収益	2,027	1,744	△ 284	△ 14%	
	コア営業利益	18	△ 55	△ 72	-	
	EBITDAマージン	8.7%	5.4%	△ 3.3p	-	
クラサスケミカル (石油化学事業)	売上収益	3,297	3,003	△ 294	△ 9%	
	コア営業利益	86	47	△ 39	△ 45%	
	EBITDAマージン	4.3%	3.5%	△ 0.8p	-	
その他・調整額	売上収益	1,166	955	△ 211	△ 18%	
	コア営業利益	△ 95	△ 132	△ 36	-	
	EBITDAマージン	1.8%	△ 3.2%	△ 5.0p	-	
合計	売上収益	13,915	13,471	△ 444	△ 3%	
	コア営業利益	921	1,091	170	18%	
	EBITDAマージン	13.7%	15.1%	1.4p	-	

※ IFRSならびにp.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

セグメント別売上収益・コア営業利益・EBITDAマージン推移 (実績)

セグメント		2025年							2025年 業績予想公表値※ (億円)	
		1-3月	4-6月	上期	7-9月	10-12月	下期	通期	通期予想	増減
半導体・電子材料	売上収益	1,112	1,195	2,307	1,350	1,407	2,757	5,063	4,990	73
	コア営業利益	196	229	425	315	344	659	1,084	990	94
	EBITDAマージン	27.1%	28.3%	27.8%	31.3%	33.1%	32.2%	30.2%	28.9%	1.3p
モビリティ	売上収益	469	428	897	424	463	888	1,784	1,800	△ 16
	コア営業利益	11	2	13	7	24	31	44	65	△ 21
	EBITDAマージン	10.6%	8.5%	9.6%	10.1%	9.8%	10.0%	9.8%	11.9%	△ 2.1p
イノベーション材料	売上収益	220	229	449	230	243	473	922	1,000	△ 78
	コア営業利益	21	28	49	31	23	54	104	90	14
	EBITDAマージン	16.3%	18.3%	17.3%	20.0%	15.8%	17.8%	17.6%	14.1%	3.4p
ケミカル	売上収益	377	407	784	475	485	959	1,744	1,740	4
	コア営業利益	△ 63	△ 19	△ 82	8	19	27	△ 55	△ 50	△ 5
	EBITDAマージン	△ 6.7%	3.8%	△ 1.2%	10.2%	11.4%	10.8%	5.4%	5.3%	0.1p
クラサスケミカル (石油化学事業)	売上収益	787	712	1,499	729	775	1,504	3,003	3,580	△ 577
	コア営業利益	8	△ 16	△ 8	41	14	55	47	105	△ 58
	EBITDAマージン	2.9%	△ 0.3%	1.4%	7.6%	3.8%	5.6%	3.5%	4.5%	△ 0.9p
その他・調整額	売上収益	247	238	485	234	236	470	955	1,110	△ 155
	コア営業利益	△ 25	△ 26	△ 52	△ 20	△ 60	△ 80	△ 132	△ 220	88
	EBITDAマージン	0.2%	2.2%	1.2%	1.1%	△ 16.4%	△ 7.7%	△ 3.2%	△ 9.9%	6.7p
合計	売上収益	3,211	3,209	6,421	3,442	3,609	7,051	13,471	14,220	△ 749
	コア営業利益	148	198	346	382	363	745	1,091	980	111
	EBITDAマージン	12.0%	13.6%	12.8%	18.0%	16.5%	17.2%	15.1%	13.6%	1.5p

※ 2025年2月13日公表

セグメント別サマリー (半導体・電子材料) (前期比)

(億円)

項目	2024年※	2025年	増減	増減率	業績概況
売上収益	4,451	5,063	612	14%	半導体需要は、デバイス・用途等により濃淡あるものの総じて成長。セグメント業績は主に販売数量の増加により前期比で増収増益 ・半導体前工程材料: NAND需要の回復ペースが緩やかなことや、事業譲渡(排ガス処理装置事業)の影響等で若干減収 ・半導体後工程材料: 主にAI等の先端半導体向けの販売数量増で増収。後工程売上に占めるAI向け比率は20%まで拡大 ・デバイスソリューション: HDメディアはデータセンター向け需要が堅調に推移し増収。SiCエピタキシャルウェハーはEV成長鈍化により横ばい
半導体前工程材料	864	836	△ 28	△ 3%	
半導体後工程材料	2,094	2,450	356	17%	
デバイスソリューション	1,065	1,224	159	15%	
その他	430	554	125	29%	
コア営業利益	737	1,084	346	47%	
EBITDA	1,154	1,528	374	32%	
EBITDAマージン	25.9%	30.2%	4.3p	-	

主要製品

- 半導体前工程材料: 電子材料用高純度ガス、半導体回路平坦化用研磨材料(CMPスラリー)
- 半導体後工程材料: エポキシ封止材、ダイボンディング材料、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト
- デバイスソリューション: HDメディア、SiCエピタキシャルウェハー

※ IFRS遡及適用した値

セグメント別サマリー (モビリティ) (前期比)

(億円)

項目	2024年※	2025年	増減	増減率	業績概況
売上収益	2,003	1,784	△ 219	△ 11%	当1-3月期の二次電池外装材・食品包装材等の事業譲渡の影響や、一部国内顧客の需要減により、減収減益
コア営業利益	63	44	△ 19	△ 31%	
EBITDA	236	175	△ 61	△ 26%	
EBITDAマージン	11.8%	9.8%	△ 2.0p	-	

主要製品

- 樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品、アルミ機能部材

※ IFRSならびにp.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

セグメント別サマリー (イノベーション材料) (前期比)

(億円)

項目	2024年※	2025年	増減	増減率	業績概況
売上収益	970	922	△ 48	△ 5%	一部製品の需要が自動車市場低迷の影響等で減少し、減収減益
コア営業利益	113	104	△ 9	△ 8%	
EBITDA	172	162	△ 10	△ 6%	
EBITDAマージン	17.7%	17.6%	△ 0.2p	-	

主要製品

- 樹脂材料、機能性化学品、コーティング材料、セラミックス

※ IFRS遡及適用した値

セグメント別サマリー (ケミカル) (前期比)

(億円)

項目	2024年※	2025年	増減	増減率	業績概況
売上収益	2,027	1,744	△ 284	△ 14%	・化学品：炭酸ガスの数量増や一部製品の値上げにより増収増益 ・グラファイト：黒鉛電極の市況低迷の影響を受け販売数量、販売価格ともに下落し減収、赤字拡大
化学品	871	884	13	2%	
グラファイト	1,164	847	△ 318	△ 27%	
その他	△ 8	12	21	-	
コア営業利益	18	△ 55	△ 72	-	
EBITDA	176	94	△ 82	△ 47%	
EBITDAマージン	8.7%	5.4%	△ 3.3p	-	

主要製品

- 化学品: 基礎化学品、産業ガス
- グラファイト: 黒鉛電極、カーボン負極材

※ IFRSならびにp.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

セグメント別サマリー (クラサケミカル) (前期比)

(億円)

項目	2024年※	2025年	増減	増減率	業績概況
売上収益	3,297	3,003	△ 294	△ 9%	ナフサ価格下落に伴う販売価格下落により減収、製品市況の下落や在庫受払差の悪化により減益
コア営業利益	86	47	△ 39	△ 45%	
EBITDA	143	105	△ 37	△ 26%	
EBITDAマージン	4.3%	3.5%	△ 0.8p	-	

主要製品

- 石油化学事業: オレフィン、有機化学品、合成樹脂

※ IFRSならびにp.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

非経常項目内訳

(億円)

項目	2024年※1	2025年	増減
固定資産売却益	289	6	△ 283
事業再編等利益	7	66	59
固定資産除売却損	△ 47	△ 51	△ 4
減損損失※2	△ 240	△ 510※3	△ 271
事業構造改善引当金繰入額	△ 35	-	35
事業構造改善費用	-	△ 24	△ 24
事業再編等損失	△ 4	△ 42	△ 38
特別退職金	△ 6	△ 29	△ 23
その他	4	△ 40	△ 44
非経常項目 計	△ 31	△ 625	△ 594

金融収益・費用、持分法投資損益

(億円)

項目	2024年※1	2025年	増減
金融収支	△ 115	△ 98	17
為替差損益	17	22	5
金融収益・費用 その他	△ 14	△ 33	△ 19
金融収益・費用 計	△ 112	△ 109	3
持分法投資損益	68	93	25

※1 IFRS遡及適用した値

※2 売上原価ならびに販売費及び一般管理費に含まれる

※3 Fiamm Energy Technology S. p. A.や自動車成形部材事業の譲渡等による

連結財政状態計算書

(億円)

資産	2024年 12月末※1	2025年 12月末	増減	負債・資本	2024年 12月末※1	2025年 12月末	増減
現金及び現金同等物	2,947	2,620	△ 327	仕入債務	1,714	1,628	△ 87
売上債権	2,745	2,802	57	有利子負債	10,237	9,695	△ 542
棚卸資産	2,208	2,061	△ 148	売却目的で保有する資産に直接関連する負債	165	96	△ 70
売却目的で保有する資産	280	354	74	負債 その他	2,689	2,372	△ 317
流動資産 その他	686	693	7	負債合計	14,806	13,791	△ 1,015
流動資産合計	8,865	8,530	△ 336	親会社の所有者に帰属する持分	6,646	6,989	342
有形固定資産	6,708	6,629	△ 79	(内、資本金・剰余金等)	5,965	6,220	255
無形資産	4,424	4,107	△ 317	(内、利益剰余金)	3,186	3,436	249
(内、のれん)	2,870	2,755	△ 115	(内、その他の包括利益累計額)	681	769	87
(内、無形資産 その他)	1,554	1,352	△ 202	(内、在外営業活動体の換算差額)	618	722	104
非流動資産 その他	1,729	1,801	72	非支配持分	274	288	14
非流動資産合計	12,861	12,537	△ 323	資本合計	6,920	7,276	356
資産合計	21,726	21,067	△ 659	負債及び資本合計	21,726	21,067	△ 659

主要指標

ネットD/Eレシオ (倍)※2	0.74	0.83	0.09	親会社所有者帰属持分比率 (%)	30.6	33.2	2.6p
-----------------	------	------	------	------------------	------	------	------

※1 IFRS遡及適用した値

※2 {(借入金 + コマーシャル・ペーパー + 社債 + リース負債) - 現金及び現金同等物 - 劣後ローン×50%} ÷ (親会社の所有者に帰属する持分 + 劣後ローン×50%)

劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2024年7月29日付の㈱日本格付研究所の格付に基づく

目次

1. 2025年12月期 決算
2. 2026年12月期 業績予想
3. これまでの振り返りと、さらなる成長に向けて

コア営業利益の増益、非経常項目の損失減少により、大幅な最終利益増益を見込む

P/Lサマリー

(億円)

クラサスケミカル除く
(石油化学事業)

	2025年実績	2026年予想	増減	2026年予想
売上収益	13,471	13,100	△ 371	10,300
コア営業利益 (日本基準の営業利益に相当)	1,091	1,400	309	1,330
非経常項目	△ 625	△ 350	275	
IFRS営業利益	467	1,050	583	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	290	770	480	

収益性指標

クラサスケミカル除く

	2025年実績	2026年予想	増減	2026年予想
EBITDAマージン※1	15.1%	17.9%	2.8p	21.6%
EPS (基本的1株あたり当期利益)	160円	425円	265円	
調整後EPS※2	506円	619円	113円	
ROIC※3	6.2%	7.5%	1.3p	

※1 (コア営業利益+減価償却費及び償却費) / 売上収益

※2 (親会社の所有者に帰属する当期利益 - 非経常項目) / 期中平均株式数(自己株式控除後)

※3 (コア営業利益±持分法投資損益-法人所得税費用)÷(有利子負債+資本合計)

全社売上は事業譲渡影響で減収も、半導体・電子材料は順調に成長
 コア営業利益は半導体・電子材料の成長とグラフィート事業の黒字化で増益

全社P/L			ハイライト (抜粋)							(億円)
	2026年	当期比	半導体・電子材料		ケミカル		クラスケミカル (石油化学事業)		主要な事業 譲渡影響※	
			2026年	当期比	2026年	当期比	2026年	当期比	当期比	
売上収益	13,100	△ 371	5,700	637	1,900	156	2,800	△ 203	△ 910	
コア営業利益	1,400	309	1,280	196	80	135	70	23	△ 30	
非経常項目	△ 350	275	非 経 常 項 目 ・大型の事業譲渡に伴う減損損失のあった2025年と比較して大きく損失減少を見込む ・2026年は、定常的に発生する固定資産除却損(主に設備・システムの更新に伴うもの)等に加え、退職給付制度の改定に伴う費用等を前広に織り込み							
IFRS営業利益	1,050	583								
金融収益・費用	△ 115	55								
持分法投資損益	95	2								
税引前利益	1,030	580								
当期利益	790	480								
親会社の所有者に帰属する 当期利益	770	480								

※ Fiamm Energy Technology S.p.A.、自動車成形部材事業に関するもの

2026年連結業績予想 セグメント別サマリー (当期比)

半導体・電子材料

(億円)

項目	2025年	2026年	増減	増減率
売上収益	5,063	5,700	637	13%
コア営業利益	1,084	1,280	196	18%
持分法投資損益	73	87	14	20%

半導体市場は、デバイス・用途による濃淡はあれど総じて成長する見込み。セグメント業績は、主にAI向け材料の成長で**13%の増収**を見込み、固定費は増加するも**コア営業利益も増益**の予想

サブセグメント別動向 (当期比)

半導体前工程材料	売上 ↑	NAND向け需要の回復に沿った緩やかな増収を見込む
半導体後工程材料	売上 ↑	AI半導体向け需要は旺盛。当社のAI向け材料売上は 当期比50%超の成長 を見込む
デバイスソリューション	売上 ↑	HDメディアはデータセンター向け需要堅調で増収見込む

モビリティ

(億円)

項目	2025年	2026年	増減	増減率
売上収益	1,784	1,440	△ 344	△ 19%
コア営業利益	44	30	△ 14	△ 32%

2026年4-6月期に実施予定の日本及びタイにおける自動車成形部材事業譲渡の影響や、一部国内顧客の需要減を想定し減収減益を見込む

イノベーション材料

(億円)

項目	2025年	2026年	増減	増減率
売上収益	922	900	△ 22	△ 2%
コア営業利益	104	90	△ 14	△ 13%

販売数量減により売上微減、コア営業利益は減収と固定費増加により減益を見込む

2026年連結業績予想 セグメント別サマリー (当期比)

ケミカル

(億円)

項目	2025年	2026年	増減	増減率
売上収益	1,744	1,900	156	9%
コア営業利益	△ 55	80	135	-

サブセグメント別動向 (当期比)

化学品	売上 ↑	一部製品の需要増を想定し、増収増益を見込む
グラファイト	売上 ↑	黒鉛電極の販売数量増を想定し、増収を見込む。コア営業利益は、2025年に実施した一連の合理化策の効果顕在化と増収の寄与により黒字を見込む

クラサスケミカル

(億円)

項目	2025年	2026年	増減	増減率
売上収益	3,003	2,800	△ 203	△ 7%
コア営業利益	47	70	23	49%

- ・2026年1-6月期に4年に一度の大型定期修繕を計画、販売数量減による減収を見込む。コア営業利益は製品市況の改善や在庫受払差の改善で増益見込み
- ・2026年内のパーシャル・スピノフ実行を計画、実行確定後は非継続事業となる見込み
- ・業績予想上は年間通じて連結する前提で織り込み

その他・調整額

(億円)

項目	2025年	2026年	増減	増減率
売上収益	955	360	△ 595	△ 62%
コア営業利益	△ 132	△ 150	△ 18	-

Fiamm Energy Technology S.p.A.の事業譲渡により減収・減益

2026年セグメント別売上収益・コア営業利益・EBITDAマージン推移 (予想)

セグメント		2026年			2025年		(億円)
		上期	下期	通期	通期	増減	
半導体・電子材料	売上収益	2,650	3,050	5,700	5,063	637	
	コア営業利益	535	745	1,280	1,084	196	
	EBITDAマージン	29.5%	33.1%	31.4%	30.2%	1.2p	
モビリティ	売上収益	770	670	1,440	1,784	△ 344	
	コア営業利益	15	15	30	44	△ 14	
	EBITDAマージン	8.5%	9.2%	8.8%	9.8%	△ 1.0p	
イノベーション材料	売上収益	450	450	900	922	△ 22	
	コア営業利益	45	45	90	104	△ 14	
	EBITDAマージン	16.4%	16.6%	16.5%	17.6%	△ 1.1p	
ケミカル	売上収益	900	1,000	1,900	1,744	156	
	コア営業利益	10	70	80	△ 55	135	
	EBITDAマージン	9.5%	14.6%	12.2%	5.4%	6.8p	
クラサスケミカル (石油化学事業)	売上収益	1,200	1,600	2,800	3,003	△ 203	
	コア営業利益	△ 5	75	70	47	23	
	EBITDAマージン	1.4%	6.2%	4.2%	3.5%	0.6p	
その他・調整額	売上収益	180	180	360	955	△ 595	
	コア営業利益	△ 70	△ 80	△ 150	△ 132	△ 18	
	EBITDAマージン	△ 16.7%	△ 20.8%	△ 18.7%	△ 3.2%	△ 15.6p	
合計	売上収益	6,150	6,950	13,100	13,471	△ 371	
	コア営業利益	530	870	1,400	1,091	309	
	EBITDAマージン	16.1%	19.5%	17.9%	15.1%	2.8p	

全社P/L 上下分解

(億円)

2026年			
	上期	下期	通期
売上収益	6,150	6,950	13,100
コア営業利益	530	870	1,400
非経常項目	△ 180	△ 170	△ 350
IFRS営業利益	350	700	1,050
金融収益・費用	△ 55	△ 60	△ 115
持分法投資損益	50	45	95
税引前利益	345	685	1,030
当期利益	205	585	790
親会社の所有者に 帰属する当期利益	200	570	770

収益性指標

(億円)

	2025年実績	2026年予想	増減
EBITDA※1	2,034	2,345	311
EBITDAマージン	15.1%	17.9%	2.8p
EPS (基本的1株あたり当期利益)	160円	425円	265円
調整後EPS※2	506円	619円	113円
ROIC※3	6.2%	7.5%	1.3p

負債水準指標

	2025年実績	2026年予想	増減
ネットD/Eレシオ(倍)※4	0.83	0.81	△ 0.02
ネットDebt/EBITDA倍率	3.5	2.9	△ 0.5

株主還元

	2025年実績	2026年予想	増減
1株あたり配当金	65円(予定)	65円	-

※1 コア営業利益+減価償却費及び償却費

※2 (親会社の所有者に帰属する当期利益 - 非経常項目) / 期中平均株式数(自己株式控除後)

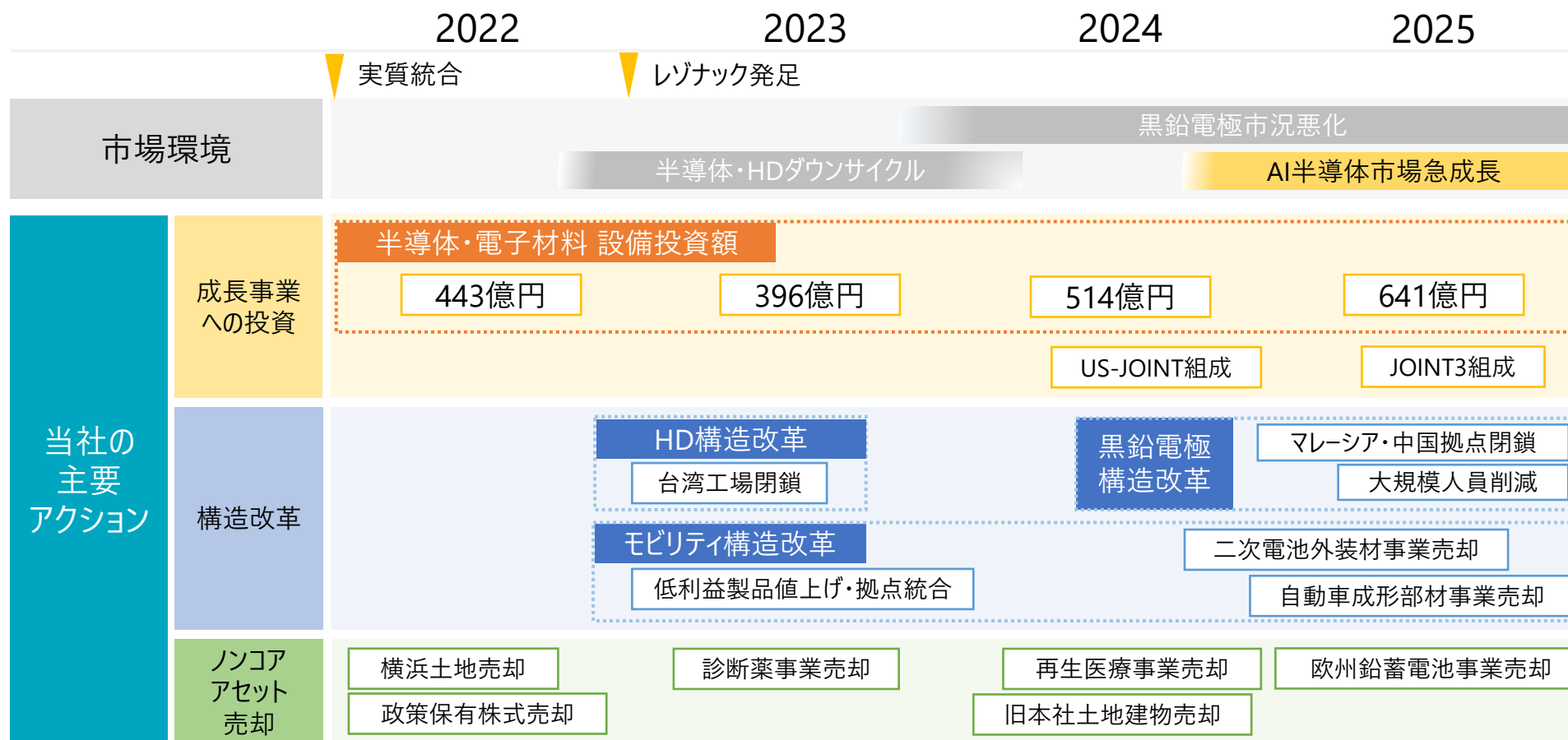
※3 (コア営業利益±持分法投資損益-法人所得税費用)÷(有利子負債+資本合計)

※4 {(借入金+コマーシャル・ペーパー+社債+リース負債)-現金及び現金同等物-劣後ローン×50%}÷(親会社の所有者に帰属する持分+劣後ローン×50%)
劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2024年7月29日付の㈱日本格付研究所の格付に基づく

目次

1. 2025年12月期 決算
2. 2026年12月期 業績予想
3. これまでの振り返りと、さらなる成長に向けて

- 業績面で課題のあった事業の構造改革を断行、立て直しを推進
- 一方成長分野では、ダウンサイクルにおいても必要投資をブレずに実施、AI半導体向け成長の礎に



- 半導体・電子材料事業の成長を通じて**収益性指標は大きく改善**
- EBITDAマージンは目標値に及ばずも、事業成長とポートフォリオ改革を通じて十分達成可能
- 負債水準を示すネットD/Eレシオは目標水準以下に改善。将来においてタイムリーに成長に向けたアクションを取れるよう、もう一段の借入金削減を進める

(2022年は日本基準、2023-25年はIFRS)		目標値	2022	2023	2024	2025
収益性	EBITDAマージン※1	20%	12.2%	8.2%	13.7%	15.1%
	石油化学事業除くベース		15.2%	9.4%	16.6%	18.4%
	EPS	500円	179円	△36円	407円	160円
	調整後EPS ※2		239円	71円	423円	506円
	ROIC ※3	10%	3.3%	1.5%	5.2%	6.2%
負債水準	ネットD/Eレシオ※4	1.0倍以下	1.07倍	1.01倍	0.74倍	0.83倍
	ネットDebt/EBITDA倍率	3.0倍以下	5.1倍	7.9倍	3.8倍	3.5倍

※1 2022年は(営業利益+減価償却費+のれん償却費)/売上高、2023-25年は(コア営業利益+減価償却費及び償却費)/売上収益

コア営業利益はIFRS営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出

※2 2022年は(親会社株主に帰属する当期純利益 - 特別損失) / 期中平均株式数(自己株式控除後)、2023-25年は(親会社の所有者に帰属する当期利益 - 非経常項目) / 期中平均株式数(自己株式控除後)

※3 2022年は(営業利益±持分法投資損益-法人税等)÷(有利子負債+純資産)、2023-25年は(コア営業利益±持分法投資損益-法人所得税費用)÷(有利子負債+資本合計)

※4 2022年は{(借入金+コマーシャル・ペーパー+社債+リース債務) - 現金及び預金 - 劣後ローン×50%} ÷ (自己資本+劣後ローン×50%)、2023-25年は{(借入金+コマーシャル・ペーパー+社債+リース負債) - 現金及び現金同等物 - 劣後ローン×50%} ÷ (親会社の所有者に帰属する持分+劣後ローン×50%)。劣後ローン(借入金に含まれる)の50%の資本性は、2020年4月27日付ならびに2024年7月29日付の㈱日本格付研究所の格付に基づく

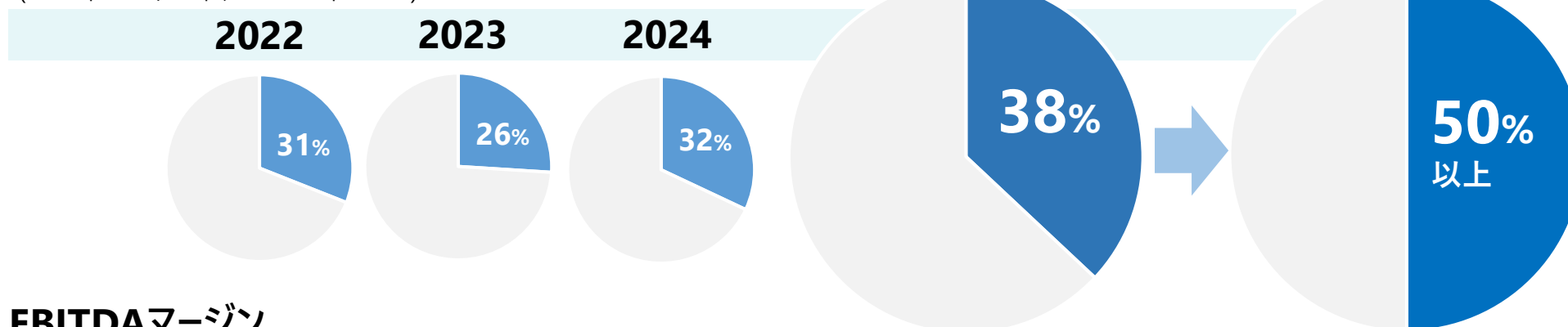
持続的成長に必要な高い収益性を手に入れるべく、今後も引き続き今掲げている
収益性目標の達成を目指す

収益性指標と目標水準	達成に向けて
EBITDAマージン 20%	ポートフォリオ改革の一巡と、半導体・電子材料の成長により 達成近い 。ダウンサイクル時においても安定的に達成すべく 事業運営する
EPS 500円	EBITDAマージン目標の達成に加え、ポートフォリオ改革の一巡 で非経常項目の損失を年100億円程度まで縮小することで 十分射程圏内
ROIC 10%	世界で戦える会社となるべく、高収益分野へのリソース集中と 更なる成長により達成を目指す

- コア成長の半導体・電子材料を中心としたポートフォリオへの改革を進め、
全社収益性が改善
- 今後、ポートフォリオ改革に伴う損失計上に一定の目途を付け、事業
成長が最終利益の成長に繋がる姿を速やかに実現する

半導体・電子材料 売上比率

(2022年は日本基準、2023-25年はIFRS)



EBITDAマージン

(2022年は日本基準、2023-25年はIFRS)

半導体・電子材料	22.5%	13.0%	25.9%	30.2%	30%
全社	12.2%	8.2%	13.7%	15.1%	20%

2026年内のパーシャル・スピノフ実行およびクラサケミカル株式の上場を目指し、鋭意推進中



主要マイルストーン

スピノフ税制
適格要件の充足

スピノフ実行
に関する機関決定

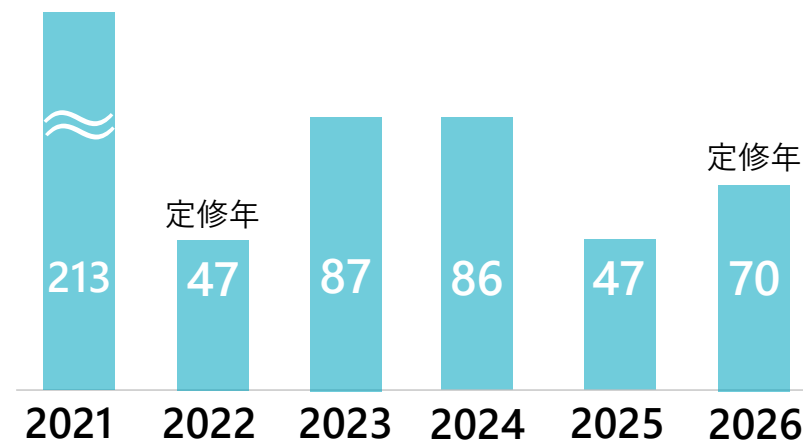
東京証券取引所
上場承認

パーシャル・スピノフ計画の概要

- ・ 当社100%子会社のクラサケミカルをスピノフし、東京証券取引所に上場
- ・ スピノフ実行時の当社株主にクラサケミカル株式を現物配当
- ・ 当社はクラサケミカル株式の20%未満を保有予定。クラサケミカルは当社連結外・持分法適用外に

スピノフ対象事業のコア営業利益

直近5年間実績および予想。2021-23年は日本基準、2024-26年はIFRS
(単位: 億円)



本スピノフの実行予定時期は未定ですが、2026年内の実行を念頭に置き検討を進めて参ります。当該検討の中には、承継会社の株式を上場する市場、日本や米国をはじめとする各国における税制適格要件の充足可能性等が含まれ、本スピノフの実行は、証券取引所その他の関係当局、ステークホルダーの承認や認定、許認可等の取得を前提としています。

- 半導体・電子材料セグメントの売上規模・収益性は、過去最高を更新。
グローバルな專業競合メーカーに見劣りしない水準
- 当社バリュエーションはEV/EBITDA倍率11倍台まで切り上がるも、グローバル競合との比較では**依然として割安**

	当社	うち 半導体・ 電子材料	グローバル 競合A	グローバル 競合B
2025年売上(億円)	13,471	5,063	7,000	4,800
前年比売上成長	△3%	+14%	+8%	△2%
EBITDAマージン	15.1%	30.2%	30%	28%
EV/EBITDA倍率	11.4倍		17倍	24倍

(2026年1月30日終値、当社2025年実績値、各社公表ガイダンス値を基に当社作成。\$=150円換算)

成長著しい先端分野での利益成長と、ポートフォリオ改革の一巡を通じて
更なるバリュエーション上昇を目指す

キャピタルアロケーション

- 成長分野における売上成長を支えるため、設備投資を最優先する**キャピタルアロケーション方針に変更なし**
- 営業キャッシュ・フローの1/2以上を設備投資に充て、次いで借入金返済・配当金支払に充てる優先順位を維持する

還元方針

- 株主還元についても、株主総利回り(TSR)を重視する現行方針を継続
- 配当政策については引き続きトラックレコードを意識する

1年TSR実績 2024年 145%
2025年 164%

4年間のキャッシュ・フロー実績

(単位: 億円)

(2022年は日本基準、2023-26年はIFRS)

	4年間合計	2026
営業キャッシュ・フロー	5,120	1,660
投資キャッシュ・フロー	△ 2,493	△ 1,300
うち 設備投資支出	△ 3,685	△ 1,350
うち その他投資CF	1,192	50
設備投資支出/営業CF	72%	81%

4年間の主要な投資インフロー

事業 売却収入	固定資産 売却収入	投資 有価証券 売却収入
530	635	264

Appendix

関係会社 (前期末対比)

子会社： 101社 (△22社)

△ 20社: 事業売却関連 (再生医療、二次電池外装材・食品包装材、自動車用および産業用鉛蓄電池事業等)

△ 2社: 海外子会社の清算

△ 1社: 国内子会社の吸収合併

+ 1社: 自動車成形部材事業売却に伴う準備会社の設立

関連会社等： 33社 (±0社)

主要諸元

主要諸元					(期中平均)
	2024年		2025年		2026年
	4Q	通期	4Q	通期	通期予想
為替レート					
(円/US\$)	152.4	151.6	154.2	149.7	150.0
	2024年12月 期末レート:158.2		2025年12月 期末レート:156.6		
(円/€)	162.6	164.0	179.4	169.0	170.0
国産ナフサ (円/KL)	73,200	75,400	65,500	66,850	66,000

(億円)

	2024年 通期実績※(A)	2025年 通期実績(B)	2026年 通期予想(C)	増減 (B)-(A)	増減 (C)-(B)
営業キャッシュ・フロー	1,637	1,303	1,660	△ 334	357
投資キャッシュ・フロー	△ 523	△ 871	△ 1,300	△ 348	△ 429
フリー・キャッシュ・フロー (営業CF + 投資CF)	1,113	432	360	△ 682	△ 72
財務キャッシュ・フロー	△ 205	△ 699	△ 290	△ 494	409
その他	146	98			
現金及び現金同等物 増減額	1,055	△ 170			

※ IFRS遡及適用した値

(億円)

セグメント	2024年 通期実績※(A)	2025年 通期実績(B)	2026年 通期予想(C)	増減 (B)-(A)	増減 (C)-(B)
半導体・電子材料	514	641	837	126	196
モビリティ	100	94	132	△ 6	39
イノベーション材料	51	49	87	△ 2	38
ケミカル	162	167	133	4	△ 34
クラサスケミカル (石油化学事業)	66	62	153	△ 4	91
その他・調整額	127	117	120	△ 10	3
合計	1,020	1,129	1,462	108	334

※ IFRSならびにp.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

(億円)

	2024年 通期実績※(A)	2025年 通期実績(B)	2026年 通期予想(C)	増減 (B)-(A)	増減 (C)-(B)
設備投資	1,020	1,129	1,462	108	334
減価償却費 (PPA償却費除く)	822	788	797	△ 34	9
PPA償却費	158	154	148	△ 4	△ 6
研究開発費	448	465	536	17	71
金融収支	△ 115	△ 98	△ 115	17	△ 17

※ IFRS遡及適用した値

(億円)

セグメント		2024年 通期実績※(A)	2025年 通期実績(B)	2026年 通期予想(C)	増減 (B)-(A)	増減 (C)-(B)
半導体・電子材料	減価償却費及び償却費(PPA除く)	293	320	385	28	65
	PPA償却費	124	124	124	-	-
	減価償却費及び償却費 計	417	444	509	28	65
モビリティ	減価償却費及び償却費(PPA除く)	155	115	86	△ 40	△ 29
	PPA償却費	17	16	10	△ 2	△ 5
	減価償却費及び償却費 計	172	131	97	△ 41	△ 34
イノベーション材料	減価償却費及び償却費(PPA除く)	50	49	49	△ 1	△ 0
	PPA償却費	10	10	10	0	△ 0
	減価償却費及び償却費 計	59	59	59	△ 1	△ 0
ケミカル	減価償却費及び償却費(PPA除く)	153	145	147	△ 8	3
	PPA償却費	6	4	4	△ 2	△ 0
	減価償却費及び償却費 計	159	149	151	△ 10	3
クラサスケミカル (石油化学事業)	減価償却費及び償却費(PPA除く)	56	58	46	2	△ 12
	PPA償却費	-	-	-	-	-
	減価償却費及び償却費 計	56	58	46	2	△ 12
その他・調整額	減価償却費及び償却費(PPA除く)	116	101	83	△ 15	△ 18
	PPA償却費	1	1	-	△ 0	△ 1
	減価償却費及び償却費 計	117	101	83	△ 16	△ 19
合計	減価償却費及び償却費(PPA除く)	822	788	797	△ 34	9
	PPA償却費	158	154	148	△ 4	△ 6
	減価償却費及び償却費 計	980	943	945	△ 38	3

※ IFRSならびにp.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

(億円)

項目	2025年 7-9月	2025年 10-12月	増減
売上収益	3,442	3,609	167
コア営業利益	382	363	△ 19
非経常項目	△ 494	△ 111	383
IFRS営業利益	△ 111	252	363
金融収益・費用、持分法投資損益	9	△ 4	△ 13
税引前四半期利益	△ 102	248	350
四半期利益	△ 128	240	368
親会社の所有者に帰属する四半期利益	△ 136	230	366
EBITDA (コア営業利益+減価償却費及び償却費)	618	595	△ 23
EBITDAマージン	18.0%	16.5%	△ 1.5p

セグメント		2024年※					(億円)
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	通期実績	
半導体・電子材料	売上収益	975	1,121	1,189	1,167	4,451	
	コア営業利益	83	182	263	209	737	
	EBITDAマージン	18.9%	25.6%	30.8%	27.1%	25.9%	
モビリティ	売上収益	508	490	499	506	2,003	
	コア営業利益	15	8	16	24	63	
	EBITDAマージン	11.8%	10.7%	11.8%	12.7%	11.8%	
イノベーション材料	売上収益	224	244	247	254	970	
	コア営業利益	22	35	32	24	113	
	EBITDAマージン	16.2%	20.4%	18.8%	15.5%	17.7%	
ケミカル	売上収益	451	534	523	519	2,027	
	コア営業利益	△ 8	5	21	△ 0	18	
	EBITDAマージン	6.7%	9.0%	11.1%	7.8%	8.7%	
クラサスケミカル (石油化学事業)	売上収益	759	799	868	872	3,297	
	コア営業利益	5	16	30	35	86	
	EBITDAマージン	2.4%	3.8%	5.1%	5.7%	4.3%	
その他・調整額	売上収益	306	285	272	304	1,166	
	コア営業利益	△ 22	△ 10	△ 5	△ 59	△ 95	
	EBITDAマージン	3.0%	5.9%	9.1%	△ 9.6%	1.8%	
合計	売上収益	3,222	3,473	3,598	3,622	13,915	
	コア営業利益	96	236	357	233	921	
	EBITDAマージン	10.5%	13.9%	16.6%	13.3%	13.7%	

※ IFRSならびにp.40記載のセグメント変更を遡及適用した値

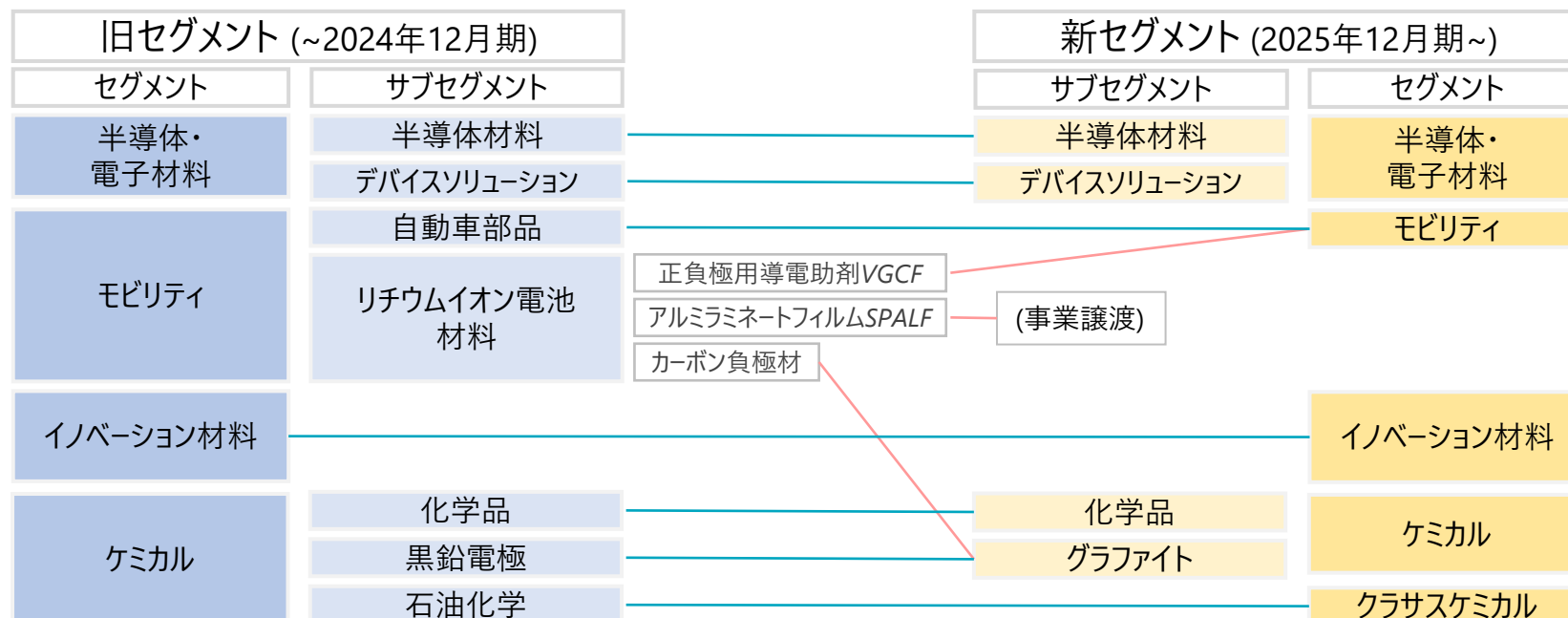
2025年12月期より、開示セグメントを下記の通り変更している。

モビリティセグメント

- ・一部主要製品の事業売却等に伴い、自動車部品・リチウムイオン電池材料サブセグメントを集約し、モビリティセグメントとしての開示に移行
- ・リチウムイオン電池材料サブセグメントの製品「カーボン負極材」はケミカルセグメントに移行

ケミカルセグメント

- ・石油化学サブセグメントを独立セグメント化し、新セグメント「クラサスケミカル」を新設
- ・黒鉛電極サブセグメントと「カーボン負極材」をあわせて「グラファイト」サブセグメントに移行



セグメント	トピックス
半導体・ 電子材料	「2025 TSMC Excellent Performance Award」を受賞
	銅張積層板及びプリプレグの価格改定について
ケミカル	黒鉛電極事業に関する合理化推進について
その他	国内従業員の1割強が参加 レゾナック初の大規模学習イベント「ラーニングフェス」を開催

ニュースリリース

詳細は各ニュースリリースをご参照ください。

<https://www.resonac.com/jp/news>

注意事項

本資料に掲載されている当社の業績に関する予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。

なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、世界的な政治情勢、経済情勢、規制の強化、製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。